

# 上級日本語学習者に対する外来語の指導

小野純一

## 1. はじめに

上級日本語学習者の場合、見たり聞いたりする外来語は「テレビ」「パソコン」「アルバイト」のような基礎的なものにとどまらない。例えば、日本人学生の発話には「オーラがある」「ディーブな話」「それセクハラ!」「マニアックな趣味」「トラウマになりそう!」などの言葉が頻繁に現れ、広告には「マイルがたまる!」「燃油サーチャージ・ゼロ!」「チャリティバザール開催中!」「サマークリアランスセール!」「カウントダウンパーティー 2010」などの言葉が書かれている。また、外来語には「ポイントカード」「キャッシュカード」「クレジットカード」「プリペイドカード」「メンバーズカード」のようなよく似た言葉や「アジェンダ」「マニフェスト」「コンプライアンス」「オファーを受ける」「コラボレートする」のように日本人にとっても分かりにくい言葉<sup>1)</sup>さらには「アベック」「チョッキ」「ナイター」「ビフテキ」「マイコン」のように現在では用いられなくなった言葉も存在する。このような外来語は基礎的な外来語以上に詳しい説明が必要であるが、授業の時間は限られているため、できる限り効率的に指導しなければならない。本稿は、筆者が上級日本語学習者向けの授業で用いた教材の一部を紹介したものである<sup>2)</sup>。

## 2. 実際の教材

### 2.1 食文化に関する文章

東京は『(1) 東京 (2010年版)』に世界最多の飲食店が「3つ星レストラン」として掲載されるほどの「(2) の街」であり、和食・洋食・中華料理に加え、様々な(3)料理の店がある。また、若者を中心にマクドナルドやケンタッキーなどの(4)店も人気がある。(5)は年中無休で24時間営業しており、(6)やスーパーの(7)では様々な料理を気軽に食べることができる。多くのホテルではランチタイムに(8)形式で料理を提供しており、安い値段でホテルの味を楽しむことができる。有名な(9)の作るケーキは、女性や子供だけではなく甘い物が好きな男性にも人気があり、彼らは「(10) 男子」などと呼ばれている。

<sup>1)</sup> 国立国語研究所「外来語」委員会「外来語定着度調査」(2002-2004)を参考にした。

<sup>2)</sup> 外来語の選択については『現代用語の基礎知識 (2010年版)』自由国民社を参考にした。また、実際の教材は選択問題形式であるが、本稿では全ての選択肢を設問順に並べている。

- (1) ミシュランガイド **【Michelin Guide】** (2) グルメ **【gourmet】** (3) エスニック **【ethnic】**  
(4) ファーストフード **【fast food】** (5) コンビニエンスストア (コンビニ) **【convenience store】**  
(6) ファミリーレストラン (ファミレス) **【family restaurant】** (7) フードコート **【food court】**  
(8) バイキング **【viking】** (9) パティシエ **【pâtissier】** (10) スイーツ **【sweets】**

居酒屋のなかには「昭和の再現」を(1)にしたところもある。(2)が考慮された個室があり(3)に浸ることができる。(4)が好きな人は山や河原などで(5)をすることもある。最近では、調理や食事に時間をかける(6)や乳酸菌が含まれた(7)、有機栽培で作られた(8)などが好まれている。このような「健康と環境を志向するライフスタイル」は「(9)」と呼ばれている。

- (1) コンセプト **【concept】** (2) プライバシー **【privacy】** (3) ノスタルジー **【nostalgie】** (4) アウトドア **【outdoor】** (5) バーベキュー **【barbecue】** (6) スローフード **【slow food】** (7) プロバイオティクス **【probiotics】** (8) オーガニックフード **【organic food】** (9) ロハス **【LOHAS】**

栄養面でも、ビタミンやミネラルだけではなく、大豆に含まれる(1)や手羽先に含まれる(2)など多くの成分が注目されている。虫歯を予防するために「(3)ガム」を噛む人も多い。また、東京の秋葉原には「(4)喫茶」やアニメのキャラクターの服を着た従業員が接客する「(5)喫茶」などもある。能や歌舞伎、お茶や生け花などの伝統文化も含め、このような日本文化に関するものは「(6)」と呼ばれ、世界の人々の関心を集めている。

- (1) イソフラボン **【isoflavone】** (2) コラーゲン **【collagen】** (3) キシリトール **【xylitol】** (4) メイド **【maid】** (5) コスプレ **【cosplay】** (6) クールジャパン **【Cool Japan】**

## 2. 2 環境問題に関する文章

日本は自然に恵まれた国であるが「地震大国」でもある。特に、現在は「太平洋(1)地帯」の一角である静岡県を中心に「(2)8」クラスの「東海地震」の発生が予測されている。このため、耐震工事を行ったり、被害予測図である(3)を作成したり、東海道新幹線の(4)路線として、時速500キロの(5)が約1時間で東京から大阪までを結ぶ中央新幹線が計画されたりしている。また、(6)によるオゾン層の破壊やペルー沖の海面水温の変動(「(7)現象」「(8)現象」)による異常気象、都市型洪水を発生させる「(9)豪雨」も深刻な問題となっている。

- (1) ベルト **【belt】** (2) マグニチュード **【magnitude】** (3) ハザードマップ **【hazard map】**  
(4) バイパス **【bypass】** (5) リニアモーターカー **【linear motor car】** (6) フロンガス **【fron gas (和製語)】** (7) エルニーニョ **【El Niño】** (8) ラニーニャ **【La Niña】** (9) ゲリラ **【guerrilla】**

「東京（１）」を契機として、日本では高速道路をはじめとする（２）が整備され、本格的な「（３）化」が始まった。物流の手段は鉄道から自動車に（４）し、現在では自動車が圧倒的な（５）を占めている。しかしながら、自動車の排気ガスは大気汚染の原因の１つであり、大都市においては「（６）現象」も引き起こしている。このため、最近は大規模開発を行うまえには（７）の観点から「環境（８）」が行われている。また、生態系を保護するため（９）も作られている。

（１）オリンピック【Olympic】（２）インフラ【infrastructure】（３）モータリゼーション【motorization】（４）シフト【shift】（５）シェア【share】（６）ヒートアイランド【heat island】（７）エコロジー【ecology】（８）アセスメント【assessment】（９）ビオトープ【Biotop】

電気とガソリンで動く「プリウス（トヨタ自動車）」などの（１）や電気のみで動く「アイミーブ（三菱自動車）」などの電気自動車の登場は自動車業界に大きなインパクトを与えた。また、バスにもエンジンを自動で停止・再始動させる（２）機能が搭載されており、高齢者が多い地域では（３）の理念のもと（４）が考慮された（５）が走っている。携帯電話は車内では（６）にしなければならない。駅には（７）だけでなく、車椅子でも移動できるよう、プラットホームとコンコースのあいだに（８）が設置されている。また、エアコンの使用を控えるため、夏は「（９）」冬は「（１０）」と呼ばれる服装が推奨されている。さらに、廃棄物を（１１）し「（１２）社会」を実現するため、アルミ缶や（１３）などの分別回収や預かり金を徴収する（１４）などが行われている。

（１）ハイブリッドカー【hybrid car】（２）アイドリングストップ【idling stop（和製語）】（３）ノーマライゼーション【normalization】（４）バリアフリー【barrier free】（５）ノンステップバス【non step bus（和製語）】（６）マナーモード【manner mode】（７）エスカレーター【escalator】（８）エレベーター【elevator】（９）クールビズ【COOL BIZ（和製語）】（１０）ウォームビズ【WARM BIZ（和製語）】（１１）リサイクル【recycle】（１２）ゼロ・エミッション【zero emission】（１３）ペットボトル【PET bottle（和製語）】（１４）デポジット【deposit】

### 2.3 ITに関する文章

最近、初めて人に会ったときは（１）を交換するようになったが、携帯電話は単なる通話にとどまらず、写真を撮ったり、音楽を聴いたり、テレビを見たり、「GPS（全地球測位システム）」で現在地を確認したり、「SMS（ショートメッセージサービス）」で連絡したりすることができる。また、「電子（２）」としても機能し、買い物をしたり、電車に乗ったりすることもできる。しかし、これほどの高性能でありながら、通信方式などが世界標準と大きく懸け離れており、これを「（３）現象」と言う。また、従来は他の事業者に契約を切り替えた場合は電話番号の変更を余儀なくされたが、現在は「（４）制度」が導入され、元の番号がそのまま使えるようになった。テレ

ビの「(5) 放送」は「(6) 放送」に代わるもので、このうち携帯電話や自動車の(7)などの移動体向けの放送は「(8)」と呼ばれている。なお、「東京タワー」に代わる電波塔として、高さ634メートルの「東京スカイツリー」が新たに建設されている。

(1) メールアドレス(メアド)【mail address】(2) マネー【money】(3) ガラパゴス【Galapagos】(4) ナンバーポータビリティ【number portability】(5) デジタル【digital】(6) アナログ【analogue】(7) カーナビ【car navi (和製英語)】(8) ワンセグ【one seg】

パソコンには「(1) パソコン」や「(2) パソコン」などがあるが、最近はより小型の「(3)」が人気を集めている。基本ソフト(OS)はマイクロソフト社の「(4) シリーズ」が9割以上を占めている。「(5)」や「(6)」のような「検索(7)」を使えばホームページを簡単に検索することができ、「(8)」を使えば無料で電話をかけることができる。また、(9)を使えば一度に多くの人に連絡することができ、「添付(10)」を使えば文書や写真を瞬時に送ることができる。

(1) デスクトップ【desktop】(2) ノートブック【notebook】(3) ネットブック【netbook】(4) ウィンドウズ【Windows】(5) ヤフー【Yahoo】(6) グーグル【Google】(7) エンジン【engine】(8) スカイプ【Skype】(9) メーリングリスト【mailing list】(10) ファイル【file】

「光(1)」の普及により、動画を高速で(2)することができるようになった。また、多くの人が(3)を書いたり、(4)をしたり、(5)に参加して品物を売買したり、自宅にいながらショッピングを楽しんだりしている。(6)も芸術的であり、「つぶやき」を投稿したり閲覧したりすることのできる「(7)」も人気がある。「(8)」をはじめとする(9)はコミュニケーションの手段としてだけでなく、社員同士が経験や知識を共有する(10)の手段としても用いられている。最近「(11)」と呼ばれるITを駆使して自宅などで仕事をする個人事業主も増えてきた。

(1) ファイバー【fiber】(2) ダウンロード【download】(3) ブログ【blog】(4) チャット【chat】(5) ネットオークション【net auction】(6) アスキーアート【ASCII Art (AA)】(7) ツイッター【Twitter】(8) ミクシィ【mixi】(9) ソーシャルネットワーキングサービス【SNS】(10) ナレッジマネジメント【knowledge management】(11) ソーホー【SOHO】

携帯電話やパソコンにも問題がある。ウェブサイトを見て回る(1)をしていると、すぐに多くの時間が経ってしまう。大学生がウェブサイトの記述を(2)して論文を書くことはすでに一般的になった。「ネット依存症」や(3)ばかりしている「ゲーム依存症」、携帯電話が手放せなくなる「ケータイ依存症」も深刻で、(4)の世界と現実の区別が付かなくなり罪を犯す者もいる。

さらに、最新の(5)を(6)しなければ、すぐにウイルスに感染してしまう。「有害(7)」も多く、「迷惑メール」が大量に送られてくることもある。(8)や「(9)詐欺」「(10)詐欺」なども多発している。(11)を受信しても再び送信しないことなどは「(12)」と呼ばれている。

(1) ネットサーフィン **[net surfing]** (2) コピーアンドペースト (コピペ) **[copy and paste]**  
(3) オンラインゲーム **[online game]** (4) バーチャル・リアリティ **[virtual reality]** (5) セキュリティソフト **[security software]** (6) インストール **[install]** (7) サイト **[site]** (8) サイバーテロ **[cyber terrorism]** (9) フィッシング **[phishing]** (10) ワンクリック **[one click]**  
(11) チェーンメール **[chain mail]** (12) ネチケット **[netiquette]**

#### 2. 4 医療・健康に関する文章

「健康(1)」の現在、多くの人が(2)対策として(3)に通ったり「人間(4)」に入ったりしている。しかしながら、(5)のために(6)の高い物を食べないようにしてもすぐに(7)してしまう。また、病苦や失業、職場における強い(8)、配偶者からの(9)などのために自殺をする人も増えてきた。日本での自殺者は年間3万人を超えている。現代人は体の健康だけではなく(10)にも気を付けなければならない。最近(11)によって心身をリラックスさせたり、全身の美容術を行う(12)に通ったりする人も多い。

(1) ブーム **[boom]** (2) メタボリック・シンドローム (メタボ) **[metabolic syndrome]** (3) ジム **[gym]** (4) ドック **[dock]** (5) ダイエット **[diet]** (6) カロリー **[calorie]** (7) リバウンド **[rebound]** (8) ストレス **[stress]** (9) ドメスティック・バイオレンス **[domestic violence (DV)]** (10) メンタルヘルス **[mental health]** (11) アロマセラピー **[aromathérapie]**  
(12) エステティックサロン (エステ) **[esthétique salon (和製語)]**

文部科学省は、2003年より「ヒト(1)」解説の成果を活用した「(2)医療実現化プロジェクト」を開始し、患者の体質に合わせたより効果的な治療を目指している。患者の満足度を高めるためには、十分な(3)や(4)を考慮した医療の実現、栄養を補うための(5)の開発、日帰り介護の(6)や末期の患者に(7)を行う(8)の充実なども重要である。また、患者も主治医の治療方針に悩んだときは積極的に(9)を求めるべきである。

(1) ゲノム **[genom]** (2) オーダーメイド **[order made (和製語)]** (3) インフォームド・コンセント **[informed consent]** (4) クオリティ・オブ・ライフ **[quality of life (QOL)]** (5) サプリメント **[supplement]** (6) デイサービス **[day service (和製語)]** (7) ターミナルケア **[terminal care]** (8) ホスピス **[hospice]** (9) セカンド・オピニオン **[second opinion]**

## 2. 5 教育・社会に関する文章

日本は高度経済成長期においては「1億総中流社会」と呼ばれていたが、現在は「勝ち組」「負け組」に二極分化した「格差社会」となっている。労働者の3割近くが(1)や(2)のような非正規雇用の労働者である。彼らは(3)も無く、毎日働いても年収が200万円に満たない者も多いことから「(4)」と呼ばれている。特に、2008年の「(5)問題」によるリーマン・ブラザーズの経営破綻に始まる世界的な金融危機以降、労働者を取り巻く環境はますます厳しいものとなっている。日本では新卒の時期を逃したり(6)されたりすると、その後はいくら「(7)」に通ってもなかなか良い仕事を得られないので、就職に対する(8)は強まる一方である。

(1) フリーター【freeter (和製語)】(2) パートタイマー【part timer】(3) ボーナス【bonus】  
 (4) ワーキングプア【working poor】(5) サブプライムローン【subprime loan】(6) リストラ【restructuring】(7) ハローワーク【Hello Work (和製語)】(8) プレッシャー【pressure】

仕事に対する(1)に欠けた人物は社会で必要とされない。多くの場合、無気力な学生は、指示されたことしかしない「(2)人間」か、大人になることを拒否した「(3)人間」である。また、最近では些細なことでも学校や教師に対して(4)を言う(5)も存在する。子供は自らの(6)を知ることなく大人になり、学生でも社会人でも主婦でもない(7)になる。家賃が払えないことから「(8)難民」や(9)になったりする者もある。このため、雇用に関する(10)を整備したり(11)を導入して雇用機会を増やしたりすることが求められている。また、企業は社員の(12)を十分に考慮し、「(13)残業」を強制してはならない。

(1) モチベーション【motivation】(2) マニュアル【manual】(3) モラトリアム【moratorium】  
 (4) クレーム【claim】(5) モンスターペアレンツ【monster parents (和製語)】(6) アイデンティティー【identity】(7) ニート【NEET】(8) ネットカフェ【internet cafe】(9) ホームレス【homeless】(10) セーフティネット【safety net】(11) ワークシェアリング【work sharing】  
 (12) ワークライフバランス【work-life balance】(13) サービス【service】

日本人の多くは英語の能力が高くなく「英語(1)」を持っている。「TOEFL」の成績(2)はアジアで最下位に近い。このため、2011年度からは小学校においても英語が必修科目になる。また、現在のような情報化社会においては、少なくともマイクロソフト社の「(3)」「(4)」「(5)」については使えるようにしておかなければならない。特に、多くの聴衆に意見を述べる(6)の能力は必要不可欠なものである。このため、多くの大学では「情報(7)」などの科目を必修とし、(8)教材を用いたEラーニングを(9)に沿って行っている。さらに、「開かれた大学」を目指して一般市民を対象とした(10)を開催したり、研究成果を生かすために「大学発(11)」を設立

したりもしている。なお、就職を希望する者は「履歴書」や「(12)」を書かなければならず、面接試験では「自己PR」をし「志望動機」について話さなければならない。最近、主要科目である(13)よりも、就職活動や(14)を重視する学生が増加し問題になっている。

(1) コンプレックス【complex】(2) ランキング【ranking】(3) ワード【Word】(4) エクセル【Excel】(5) パワーポイント【PowerPoint】(6) プレゼンテーション(プレゼン)【presentation】(7) リテラシー【literacy】(8) マルチメディア【multimedia】(9) シラバス【syllabus】(10) シンポジウム【symposium】(11) ベンチャー【venture】(12) エントリーシート【entry sheet】(13) ゼミナール(ゼミ)【Seminar】(14) インターンシップ【internship】

### 3. お わ り に

本稿は、筆者が中国において実施した「日本語日本文化講座『外来語の意味と用法』」での配付資料に加筆したものである<sup>3)</sup>。ここに挙げた教材を使用すれば、外来語だけではなく、現在の日本事情についても指導することができる。その場合、新聞や雑誌などの「生教材」を併用すればより効果的である。身の周りの全ての物が教材になることを理解させる良い機会にもなる。

---

<sup>3)</sup> 浙江師範大学外国語学院日語系・杭州師範大学外国語学院日語系(2009年9月実施)